

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

〈食料・農業事業分野〉

1. 持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組みます。

2. 持続可能なフードシステムの構築に取り組みます。

3. 農業生産における環境負荷の軽減に取り組みます。

4. 農業のもつ多面的機能を発揮していきます。

〈地域・くらし事業分野〉

5. 安心して暮らせる持続可能な豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	①新規就農支援研修制度の活用 ②新規就農支援事業の展開 ③新たな支援事業の展開	①研修生 2023年8名→2026年12名 ②研修後就農生 2023年8名→2026年12名 ③就農支援金受給者 2023年8名→2026年12名
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	①低コスト、省力化商品の普及拡大 ②作物別系統独自ブランド(PB)商品の取扱い拡大による低コスト(価格・労力)肥料の普及拡大 ③事前予約数量に基いた銘柄集約によるコスト低減(集中購買)	①低コスト、省力化商品の取扱量 2023年9,248袋→2026年15,000袋 ②PB商品の取扱量 2023年46,000袋→2026年60,000袋 ③集約銘柄数 2023年3銘柄→2026年6銘柄
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	①農業空容器不必要農業の回収 ②肥料袋無料回収 ③環境配慮資材の普及(PLAバック生分解性マルチの普及)	①農業空容器不必要農業の回収 年1 回実施→継続 ②肥料袋無料回収 年2回実施→継続 ③PLAバック生分解性マルチの普及率 2023年1割→2026年2割

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・指標(更新時に向けた数値目標)には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

JAの経営理念を基本とし、「農業の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を実現するために取り組み、負託と期待に応えるJAづくりを図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	①新規就農支援研修制度の活用 ②新規就農支援事業の展開 ③新たな支援事業の展開	①研修生 2021年6名→2024年12名 ②研修後就農生 2021年6名→2024年12名 ③就農支援金 2021年6名→2024年12名
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	今回の新規就農支援事業において、12名の新規就農者の募集を目標としておりました。しかしながら、最終的な結果は8名となり、目標を達成することができませんでした。 この結果に至った要因を分析し、今後の支援活動の改善に努める所存です。具体的には、募集活動の強化、研修内容の見直し、そして地域コミュニティとの連携をさらに強化することで、新規就農者の増加を目指してまいります。	①研修生 2023年8名 ②研修後就農生 2023年8名 ③就農支援金 2023年8名
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	①低コスト、省力化商品の普及拡大 ②作物別系統独自ブランド(PB)商品の取扱い拡大による低コスト(価格・労力)肥料の普及拡大 ③事前予約数量に基いた銘柄集約によるコスト低減(集中購買)	①低コスト、省力化商品の取扱量 2021年9,248袋→2024年15,000袋 ②PB商品の取扱量 2021年46,000袋→2024年60,000袋 ③集約銘柄数 2021年3銘柄→2024年6銘柄
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2024年、低コスト、省力化商品の取扱量目標を達成しました。しかしながら、PB商品の取扱量と集約銘柄数の目標については、惜しくも達成には至りませんでした。PB商品の取扱量は46,000袋の目標に対して未達となり、また集約銘柄数についても3銘柄の目標に届きませんでした。これらの結果を受け、さらなる改善と成長を目指し、次年度も引き続き全力で取り組んでまいります。	①低コスト、省力化商品の取扱量 2024年18,620袋 ②PB商品の取扱量 2024年46,000袋 ③集約銘柄数 2024年3銘柄
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	①農業空容器不必要農業の回収 ②肥料袋無料回収 ③環境配慮資材の普及(PLA バック生分解性マルチの普及)	①年1回実施→継続 ②年2回実施→継続 ③2021年1割→2024年3割
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	環境配慮資材の普及(PLAバック生分解性マルチの普及)については、目標の3割に届かず、さらに多くの普及が必要と考えています。これに関しては、様々な課題があるものの、地域と企業、そして個々の農家の協力を得ながら改善を図るべく、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。	2024年 年1回実施 2024年 年2回実施 2024年 1割

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**